

抗 PD-1 抗体治療に抵抗するメラノーマ病変の腫瘍細胞と浸潤リンパ球の解析

## 1. 研究の対象

当大学での承認日から令和4年3月31日に、当院でメラノーマ切除術および抗 PD-1 抗体治療を受けた方

## 2. 研究目的・方法

メラノーマは予後が悪い皮膚がんですが、近年、抗 PD-1 抗体という治療薬によってかなり改善されました。抗 PD-1 抗体は患者さんの体内、とくにがんの周りにもともと存在する T 細胞という免疫細胞を活性化させてがんを退治させる薬剤です。最大の特徴は効果の長さですが、これは一度活性化した T 細胞が体内に長く残って、がんを退治し続けるためと考えられています。しかし最近、数年間に渡って抗 PD-1 抗体によって病状が安定していた患者さんの中でも病状が急に悪化するケースが多く見られる事になりました。原因としては T 細胞の力が弱まっている場合と、がんが T 細胞に見つからないように性質を変えてしまう場合があると考えられています。こうした状況で病状を安定させるには、悪化の原因ごとに対策をたてる必要がありますが、悪化の原因についての研究解析は不十分なのが現状です。そこで本研究では抗 PD-1 抗体を投与しているにもかかわらず悪化して来た病巣から得られた生検組織や手術組織を解析して、悪化の原因をあきらかにしつつ、効果的な対処法を開発するのが目的です。本研究では当大学での承認日から令和4年3月31日に、当院でメラノーマ切除術および抗 PD-1 抗体治療を受けた方の検体を対象にして研究を行います。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、画像データ

試料：診療上の必要性によって採取された切除腫瘍、血液の一部

## 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関や研究の一部を委託する機関への試料・情報の提供は、当該試料・情報を匿名化した上で行います。対応表は、当施設において個人情報管理者として指名された者が責任をもって保管・管理します。

## 5. 研究組織

## 研究代表者

山梨大学医学部皮膚科学講座

助教

田淵亜希子

## 共同研究機関及び研究責任者

国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫 TR 部門

西川博嘉

京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学講座

谷口智憲

埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

中村泰大

千葉大学大学院医学研究院 皮膚科学

松江弘之

千葉県がんセンター研究所

盛永敬郎

千葉大学医学部腫瘍病理学

池原譲

信州大学医学部皮膚科

奥山隆平

国立がん研究センター研究所細胞情報学分野

間野博行

国立がん研究センター希少がん研究分野

近藤格

札幌医科大学医学部病理学第一講座

金関貴幸

岡山大学医学部腫瘍微小環境学講座

富樫庸介

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨大学医学部皮膚科学講座

田淵亜希子

住所：409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：honobea@yamanashi.ac.jp

Tel：055-273-9856 Fax:055-273-9856

研究責任者：

千葉大学大学院医学研究院 皮膚科学 教授 松江 弘之

研究代表者：

山梨大学医学部皮膚科学講座 田淵亜希子